

# 地域包括ケアシステムの進捗状況

令和5年8月  
北海道保健福祉部  
高齢者保健福祉課

# 1 趣 旨

各圏域（圏域内の市町村）の地域包括ケアシステムの現状及び課題を把握するため、地域包括ケアシステムの進捗状況等を可視化し、評価・分析を行う。

# 2 評価指標

各市町村が行う自立支援・重度化防止などの取組に対し、達成状況を定量的に把握するために国が用いる指標（※）を活用して評価

※「保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金」に用いられる評価指標（交付金の詳細は、下記「交付金の概要（参考）」を参照）

# 3 評価方法

各圏域（圏域内の市町村）の進捗状況等について、「2 評価指標」を用いて、各圏域の項目別の得点状況を前年度や全道平均と比較する。

## ※ 交付金の概要（参考）

## 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金

令和5年度予算案（令和4年度当初予算額）：350億円(400億円)

350億円の内訳  
・保険者機能強化推進交付金：150億円  
・介護保険保険者努力支援交付金：200億円(社会保障の充実分)

### 趣 旨

- 平成29年地域包括ケア強化法において、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた保険者の取組や都道府県による保険者支援の取組が全国で実施されるよう、PDCAサイクルによる取組を制度化
- この一環として、自治体への財政的インセンティブとして、市町村や都道府県の様々な取組の達成状況を評価できるよう客観的な指標を設定し、市町村や都道府県の高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取組を推進するための保険者機能強化推進交付金を創設
- 令和2年度においては、公的保険制度における介護予防の位置付けを高めるため、保険者機能強化推進交付金に加え、介護保険保険者努力支援交付金(社会保障の充実分)を創設し、介護予防・健康づくり等に資する取組を重点的に評価することにより配分基準のメリハリ付けを強化

### 概 要

各市町村が行う自立支援・重度化防止の取組及び都道府県が行う市町村に対する取組の支援に対し、それぞれ評価指標の達成状況(評価指標の総合得点)に応じて、交付金を交付する。

- 【主な指標】
- ① PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化
  - ② ケアマネジメントの質の向上
  - ③ 多職種連携による地域ケア会議の活性化
  - ④ 介護予防の推進
  - ⑤ 介護給付適正化事業の推進
  - ⑥ 要介護状態の維持・改善の度合い

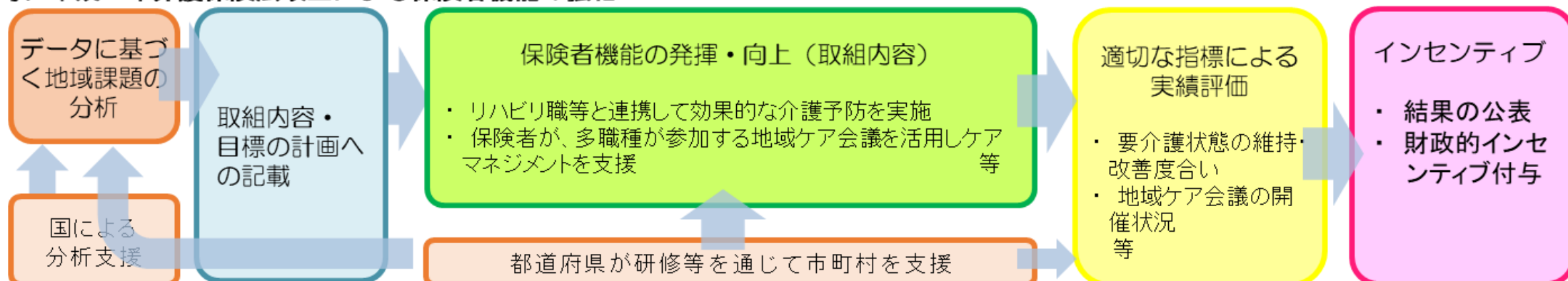
#### <市町村分>

- 1 配分 介護保険保険者努力支援交付金200億円のうち190億円程度  
保険者機能強化推進交付金150億円のうち142.5億円程度
- 2 交付対象 市町村(特別区、広域連合及び一部事務組合を含む。)
- 3 活用方法 国、都道府県、市町村及び第2号保険料の法定負担割合に加えて、介護保険特別会計に充当  
なお、交付金は、高齢者の市町村の自立支援・重度化防止等に向けた取組を支援し、一層推進することを趣旨としていることも踏まえ、各保険者は、交付金を活用し、地域支援事業、市町村特別給付、保健福祉事業を充実し、高齢者の自立支援、重度化防止、介護予防等に必要な取組を進めていくことが重要。

#### <都道府県分>

- 1 配分 介護保険保険者努力支援交付金200億円のうち10億円程度  
保険者機能強化推進交付金150億円のうち7.5億円程度
- 2 交付対象 都道府県
- 3 活用方法 高齢者の自立支援・重度化防止等に向けて市町村を支援する各種事業(市町村に対する研修事業や、リハビリ専門職等の派遣事業等)の事業費に充当。

#### <参考>平成29年介護保険法改正による保険者機能の強化



# 評価指標の内容

## ①PDCAサイクルの活用（配点：170点）

- 1 当該地域の介護保険事業の特徴を把握しているか
- 2 給付実績の計画値と実績値との乖離状況とその要因を考察しているか
- 3 第9期計画作成に向けた各種調査を実施しているか
- 4 自立支援、重度化防止等に資する施策について、目標が未達成であった場合に具体的な改善策や目標の見直し等の取組を実施しているか
- 5 当該地域の介護保険事業の特徴を他の地域と比較して分析の上、介護給付の適正化の方策を策定し、実施しているか
- 6 管内の住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の情報を市町村介護保険事業計画の策定等に活用しているか
- 7 要介護者等に対するリハビリテーション提供体制に関して分析を踏まえ施策の改善策や目標の見直し等の取組を実施しているか

## ②介護支援専門員・介護サービス事業所等（配点：100点）

- 1 保険者の方針に沿った地域密着型サービスの整備を図るため、必要性や取組内容について計画・実行・改善のプロセスを実行しているか
- 2 保険者として、ケアマネジメントに関する保険者の基本方針を、介護支援専門員に対して伝えているか
- 3 高齢者虐待防止にかかる体制整備を実施しているか
- 4 管内の介護事業所に対し、事故報告に関する支援を行っているか
- 5 管内の介護事業所に対し、非常災害対策に関する支援を行っているか

## ③地域包括支援センター・地域ケア会議（配点：165点）

- 1 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村の基本方針を定め、地域包括支援センターに周知しているか
- 2 地域包括支援センターの体制充実による適切な包括的支援事業を実施しているか
- 3 地域包括支援センターの体制充実による適切な包括的支援事業・介護予防ケアマネジメントの実施をしているか
- 4 個別事例の検討等を行う地域ケア会議における個別事例の検討件数割合はどの程度か（個別事例の検討件数／受給者数）
- 5 地域ケア会議において複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を市町村へ提言しているか
- 6 地域包括支援センターが夜間・早朝又は平日以外の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか
- 7 地域包括支援センターでは、家族等の介護離職防止に向けた支援を実施しているか

## ④在宅医療・介護連携（配点：120点）

- 1 地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータ等に基づき在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか
- 2 在宅医療と介護の連携について、医療・介護関係者への相談支援を行っているか
- 3 患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が実施できるよう、具体的な取組を行っているか
- 4 在宅医療・介護連携を推進するため、多職種を対象とした研修会を開催しているか
- 5 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を推進するため、庁内や郡市区等医師会等関係団体、都道府県等と連携を図っているか

## ⑤認知症総合支援（配点：140点）

- 1 市町村介護保険事業計画又は市町村が定めるその他の計画等において、認知症施策の取組を定め、毎年度その進捗状況について評価しているか
- 2 認知症初期集中支援チームは、定期的に情報連携する体制を構築し、支援を必要とする者への対応を行えているか
- 3 郡市区等医師会等の医療関係団体と調整し、認知症状のある人に対して、専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げるための体制を構築しているか
- 4 地域における認知症高齢者支援の取組や認知症の理解促進に向けた普及啓発活動を行っているか
- 5 認知症サポーターを活用した地域支援体制の構築及び社会参加支援が行えているか



# 評価指標の内容

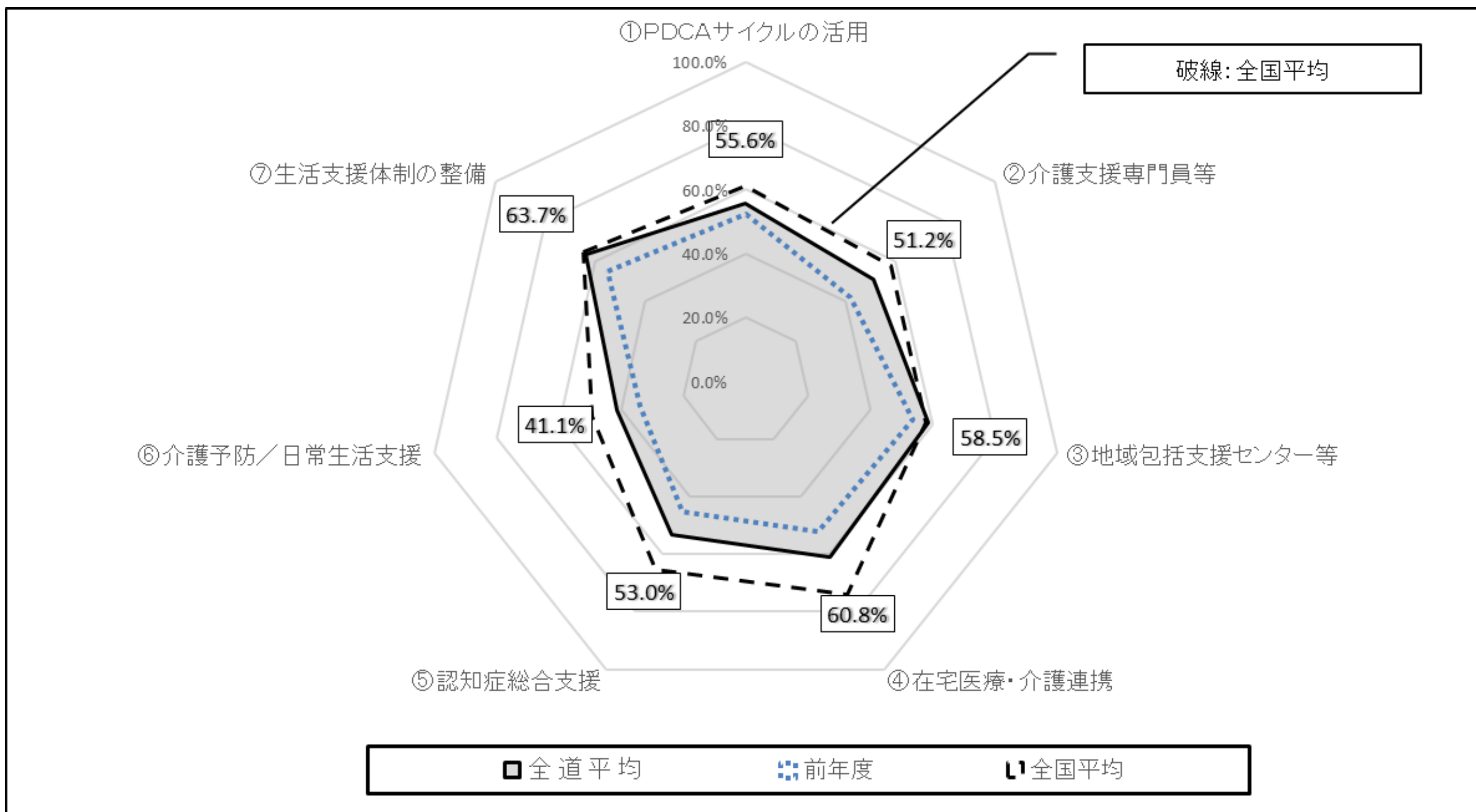
## ⑥介護予防／日常生活支援（配点：560点）

- 1 介護予防・生活支援サービス事業における多様なサービス及びその他の生活支援サービスを推進するための取組を行っているか
- 2 サービスC終了後に通いの場等へつなぐ取組を実施しているか
- 3 通いの場への65歳以上の方の参加者数はどの程度か（【通いの場への参加率＝通いの場の参加者実人数／高齢者人口】等）
- 4 通いの場への参加促進のためのアウトリーチを実施しているか
- 5 行政内の他部門や地域の多様な主体と連携し、介護予防の推進を図っているか
- 6 介護予防と保健事業を一体的に実施しているか
- 7 関係団体との連携による専門職の関与の仕組みが構築されているか
- 8 社会福祉法人・医療法人・NPO・民間サービス等と連携した介護予防の取組を実施しているか
- 9 介護予防におけるデータ活用により、介護予防の取組に係る課題の把握を行っているか
- 10 通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、通いの場の施策検討を行っているか
- 11 自立支援・重度化防止に取り組む介護サービス事業所に対して表彰等のインセンティブを付与しているか
- 12 高齢者の社会参加を促すため個人へのインセンティブを付与しているか

## ⑦生活支援体制の整備（配点：90点）

- 1 生活支援コーディネーターを専従で配置しているか
- 2 生活支援コーディネーターに対して市町村としての支援を行っているか
- 3 生活支援コーディネーターが地域ケア会議へ参加しているか
- 4 生活に困難を抱えた高齢者等の住まいの確保・生活支援に関する支援を実施しているか
- 5 高齢者の移動に関する支援を実施しているか

## 道内市町村における地域包括ケアシステムの進捗状況



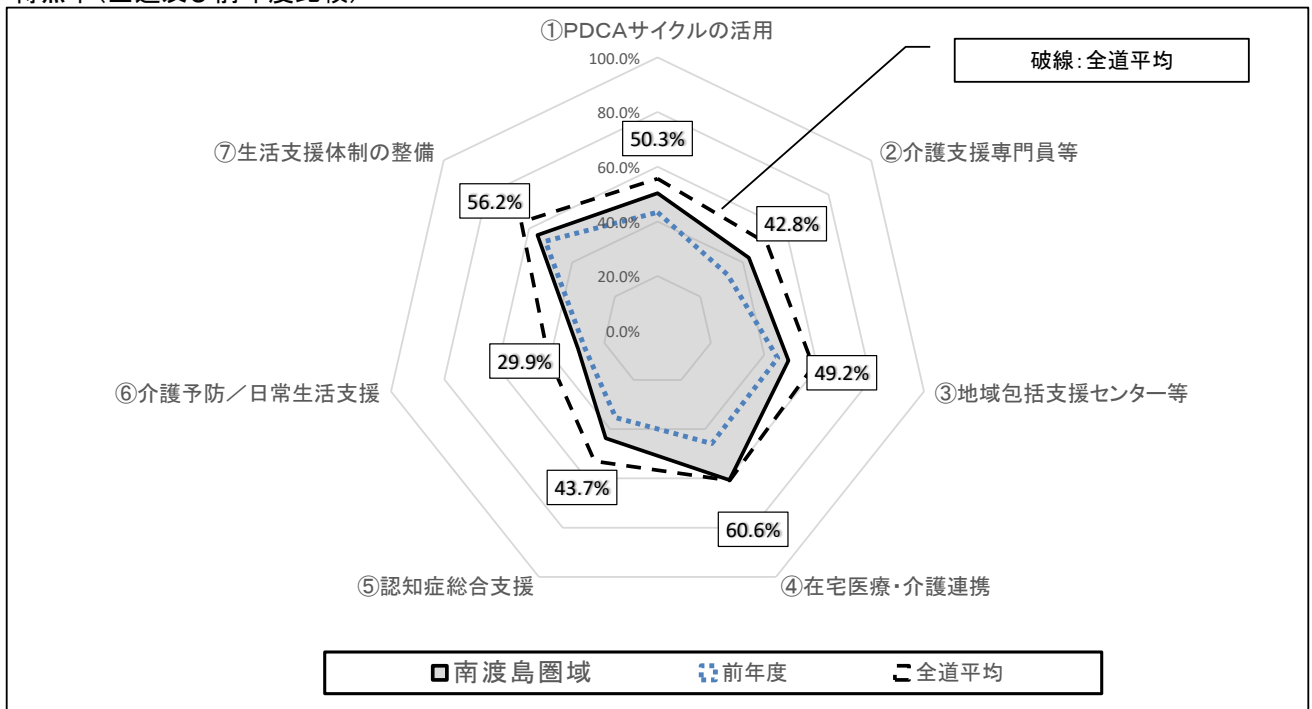
○前年度と比較すると全ての項目で上回っているものの、全国平均に比べ全体的に低い状況。  
 個別の項目では、②介護支援専門員等や⑤認知症総合支援などの項目の伸びが大きく、⑦生活支援体制の整備はほぼ全国平均となり、③地域包括支援センター等の項目が全国平均を僅かに上回っている状況となっている。  
 ○全国平均との得点率の差が大きい④在宅医療・介護連携や⑤認知症総合支援などの項目があることから、引き続き、地域包括ケアシステムの機能向上を図っていく。

# 南渡島 圏域における地域包括ケアシステムの進捗状況

## 1 集計結果

	①PDCAサイクルの活用	②介護支援専門員等	③地域包括支援センター等	④在宅医療・介護連携	⑤認知症総合支援	⑥介護予防／日常生活支援	⑦生活支援体制の整備	全体
	配点:170	配点:100	配点:165	配点:120	配点:140	配点:560	配点:90	配点:1,345
南渡島圏域	85.56	42.78	81.11	72.78	61.11	167.22	50.56	561.11
得点率	50.3%	42.8%	49.2%	60.6%	43.7%	29.9%	56.2%	41.7%
増減	7.0%	10.0%	4.0%	14.8%	8.3%	2.5%	3.7%	5.7%
全道平均	94.55	51.23	96.45	72.99	74.25	230.22	57.37	677.07
得点率	55.6%	51.2%	58.5%	60.8%	53.0%	41.1%	63.7%	50.3%
前年度	65.0	32.8	74.4	55.0	49.4	153.3	47.2	477.2
得点率	43.3%	32.8%	45.1%	45.8%	35.3%	27.4%	52.5%	36.0%
配点	配点:150	配点:100	配点:165	配点:120	配点:140	配点:560	配点:90	配点:1,325

## 2 得点率(全道及び前年度比較)



## 3 分析結果

- 前年度と比較すると全体的に上回っているものの、全道平均に比べ全体的に低い状況。個別の主な項目では、②介護支援専門員等や④在宅医療・介護連携の項目が前年度を大きく上回り、その他の項目の全てでも前年度を上回っているものの、全ての項目で全道平均を下回っている状況となっている。
- 各要素のうち、全道平均との得点率の差がある③地域包括支援センター等について、地域ケア会議における個別事例の検討件数増加を促すなどして、当該圏域における地域包括ケアシステムの機能向上を図っていく。

参考: 圏域内の市町村

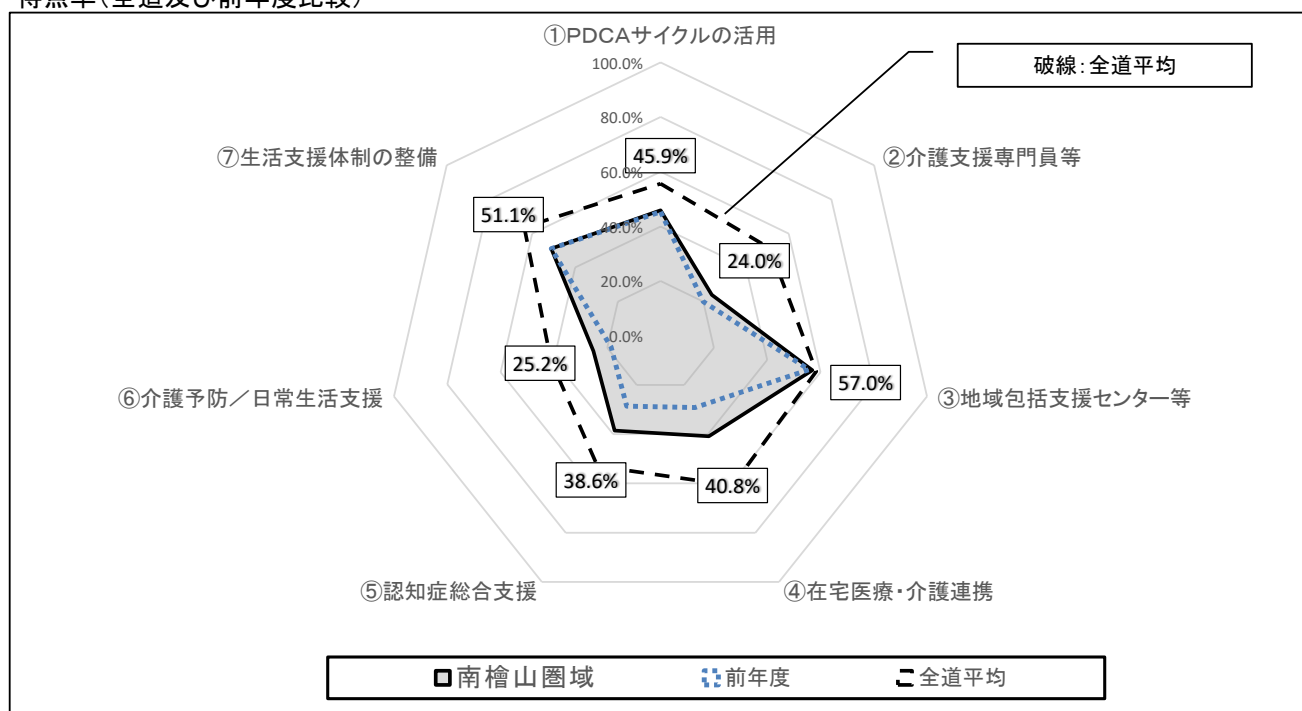
函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町

# 南檜山 圏域における地域包括ケアシステムの進捗状況

## 1 集計結果

	①PDCAサイクルの活用	②介護支援専門員等	③地域包括支援センター等	④在宅医療・介護連携	⑤認知症総合支援	⑥介護予防／日常生活支援	⑦生活支援体制の整備	全体
	配点:170	配点:100	配点:165	配点:120	配点:140	配点:560	配点:90	配点:1,345
南檜山圏域	78.00	24.00	94.00	49.00	54.00	141.00	46.00	486.00
得点率	45.9%	24.0%	57.0%	40.8%	38.6%	25.2%	51.1%	36.1%
増減	0.5%	4.0%	1.2%	11.7%	10.0%	6.6%	0.0%	5.6%
全道平均	94.55	51.23	96.45	72.99	74.25	230.22	57.37	677.07
得点率	55.6%	51.2%	58.5%	60.8%	53.0%	41.1%	63.7%	50.3%
前年度	68.0	20.0	92.0	35.0	40.0	104.0	46.0	405.0
得点率	45.3%	20.0%	55.8%	29.2%	28.6%	18.6%	51.1%	30.6%
配点	配点:150	配点:100	配点:165	配点:120	配点:140	配点:560	配点:90	配点:1,325

## 2 得点率(全道及び前年度比較)



## 3 分析結果

○ 前年度と比較すると全体的に上回っているものの、全道平均に比べ全体的に低い状況。個別の主な項目では、④介護支援専門員等や⑤認知症総合支援の項目が前年度を大きく上回り、また、その他の項目の全てでも前年度を上回っているものの、全ての項目で全道平均を下回っている状況となっている。

○ 各要素のうち、全道平均との得点率の差が大きい②介護支援専門員等について、地域密着型サービスの整備の必要性の検討やPDCAプロセスの取組、ケアマネジメントに関する基本方針の関係者間での共有を促すなどして、当該圏域における地域包括ケアシステムの機能向上を図っていく。

参考: 圏域内の市町村

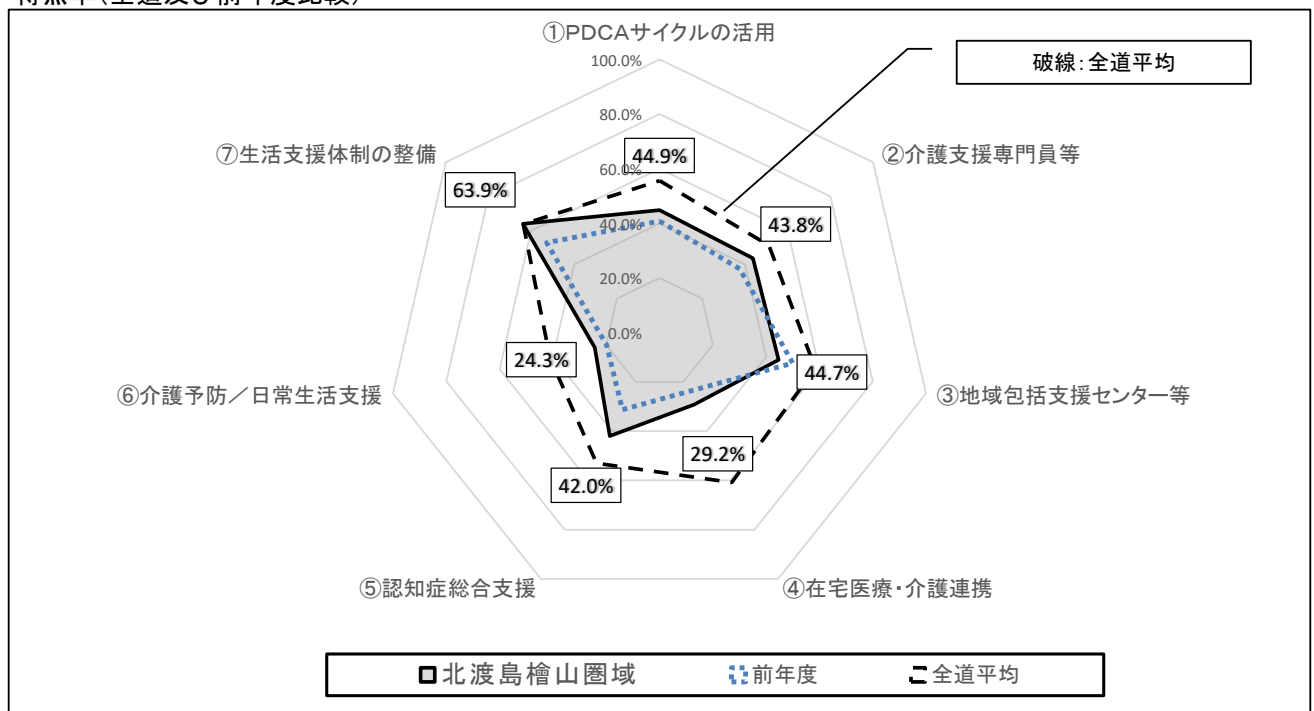
江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町

# 北渡島檜山 圏域における地域包括ケアシステムの進捗状況

## 1 集計結果

	①PDCAサイクルの活用	②介護支援専門員等	③地域包括支援センター等	④在宅医療・介護連携	⑤認知症総合支援	⑥介護予防／日常生活支援	⑦生活支援体制の整備	全体
	配点:170	配点:100	配点:165	配点:120	配点:140	配点:560	配点:90	配点:1,345
北渡島檜山圏域	76.25	43.75	73.75	35.00	58.75	136.25	57.50	481.25
得点率	44.9%	43.8%	44.7%	29.2%	42.0%	24.3%	63.9%	35.8%
増減	4.0%	6.3%	-5.3%	5.2%	10.7%	4.5%	11.1%	4.6%
全道平均	94.55	51.23	96.45	72.99	74.25	230.22	57.37	677.07
得点率	55.6%	51.2%	58.5%	60.8%	53.0%	41.1%	63.7%	50.3%
前年度	61.3	37.5	82.5	28.8	43.8	111.3	47.5	412.5
得点率	40.8%	37.5%	50.0%	24.0%	31.3%	19.9%	52.8%	31.1%
配点	配点:150	配点:100	配点:165	配点:120	配点:140	配点:560	配点:90	配点:1,325

## 2 得点率(全道及び前年度比較)



## 3 分析結果

○ 前年度と比較すると全体的に上回っているものの、全道平均に比べ全体的に低い状況。個別の主な項目では、⑤認知症総合支援や⑦生活支援体制の整備の項目が前年度を大きく上回り、また、その他のほとんどの項目でも前年度を上回っているものの、ほぼ全ての項目で全道平均を下回っている状況となっている。

○ 各要素のうち、全道平均との得点率の差が大きい④在宅医療・介護連携等について、医療・介護関係者への相談支援として、相談窓口の公表・相談内容等の取りまとめや関係者間での共有を促すなどして、当該圏域における地域包括ケアシステムの機能向上を図っていく。

参考: 圏域内の市町村

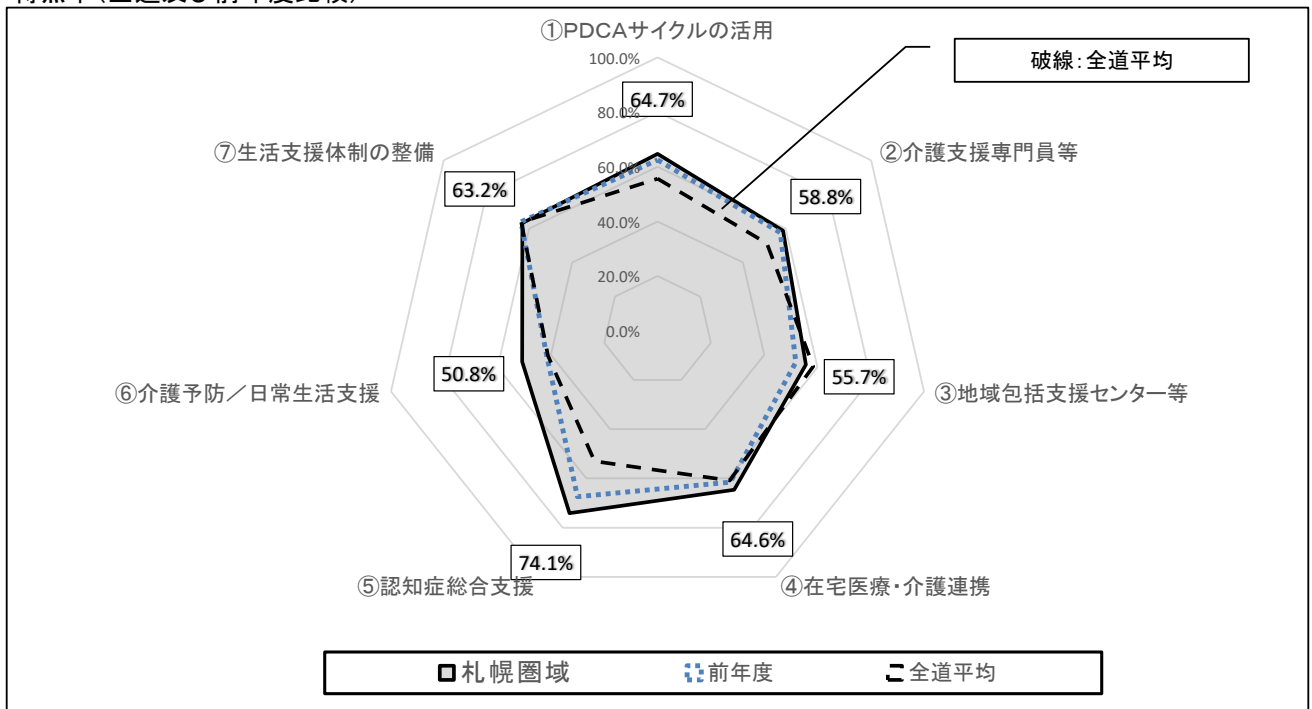
八雲町、長万部町、今金町、せたな町

# 札幌 圏域における地域包括ケアシステムの進捗状況

## 1 集計結果

	①PDCAサイクルの活用	②介護支援専門員等	③地域包括支援センター等	④在宅医療・介護連携	⑤認知症総合支援	⑥介護予防／日常生活支援	⑦生活支援体制の整備	全体
	配点:170	配点:100	配点:165	配点:120	配点:140	配点:560	配点:90	配点:1,345
札幌圏域	110.00	58.75	91.88	77.50	103.75	284.38	56.88	783.13
得点率	64.7%	58.8%	55.7%	64.6%	74.1%	50.8%	63.2%	58.2%
増減	2.2%	1.3%	3.8%	3.1%	6.7%	9.3%	-0.7%	5.8%
全道平均	94.55	51.23	96.45	72.99	74.25	230.22	57.37	677.07
得点率	55.6%	51.2%	58.5%	60.8%	53.0%	41.1%	63.7%	50.3%
前年度	93.8	57.5	85.6	73.8	94.4	232.5	57.5	695.0
得点率	62.5%	57.5%	51.9%	61.5%	67.4%	41.5%	63.9%	52.5%
配点	配点:150	配点:100	配点:165	配点:120	配点:140	配点:560	配点:90	配点:1,325

## 2 得点率(全道及び前年度比較)



## 3 分析結果

○ 前年度と比較すると全体的に上回っており、かつ全道平均を概ね上回っている状況。個別の主な項目では、⑤認知症総合支援や⑥介護予防／日常生活支援など、ほとんどの項目で前年度を上回っているものの、③地域包括支援センター等や⑦生活支援体制の整備については全道平均を下回っている状況となっている。

○ 各要素のうち、全道平均との得点率の差がある③地域包括支援センター等について、地域包括支援センターの体制充実による適切な包括的支援事業の実施を促すなどして、当該圏域における地域包括ケアシステムの機能向上を図っていく。

参考: 圏域内の市町村

札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村